

## 令和6年度 第9回益富地域会議 会議録

日時：令和6年12月18日（水曜日）19時00分～20時30分

場所：益富交流館 1階 多目的ホール

出席者：〈地域会議委員〉梅木 貴仁、加藤 弘一、岸和田 紀美代、木戸 彰彦、  
黒田 隆、今野 貞直、櫻井 裕子、柴田 栄作、鈴木 勲、  
田中 強、鶴田 政勝、寺崎 謙二、橋本 卓美、  
古川 和彦、間瀬 亮次、森本 泰崇、山内 日出美  
〈高橋支所〉 前田支所長、出口副支所長、吉野担当長

### ≪内容≫

#### 1 会長あいさつ

#### 2 市への提言について（協議）

- ・協議の前に事務局から、前回のグループワークの結果を説明した。
- ・その後、「高齢化」に対して取り組むべき課題について協議して絞り込んだ「移動手段の確保」と「孤立化」についてどのような取組ができるか4つのグループに分かれてアイデア出しを行った。
- ・グループワーク終了後、各グループで出されたアイデアを全員で共有した。

【各グループで出されたアイデア】

グループ	テーマ	主なアイデア
1	孤立化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の回覧板の回数を月1回から2回に増やして、カフェの案内等の情報をたくさん提供して外に出てきてもらう。</li> <li>・安否確認の電話を毎日行う。 ※他県では、この取組で命を救われた人がいる。 ※電話ができない人については、電話のボタンを押して安否確認できる仕組みをつくる（1＝元気、2＝体調不良等）</li> <li>・中学生と交流し、若い世代の意見を聴いて対策を考える。</li> <li>・各自治区にいる「聞き上手」な人に依頼して孤立していそうな人を訪問する。また、訪問する人をランク分けして状況を把握する。（例：ランクA＝毎日訪問が必要、B＝時々訪問が必要等）</li> <li>・あいさつを励行することでコミュニケーションが取りやすい環境をつくる。</li> <li>・月1回、市から往復ハガキを送ることで孤立化している人、孤立化しそうな人の安否確認をする。</li> <li>・市で見守りホットラインを設ける。 （最近、近所で見かけない人がいれば、同ホットラインに連絡して市から状況を確認してもらう。）</li> <li>・「茶の間」の開催（子ども食堂と同時に開催する。） ※新潟県では約2,000か所で開催されている。</li> <li>・高齢者ボランティアに依頼して安否確認する。</li> </ul>
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状を把握する。</li> </ul>

		<p>(自治区長、民生委員、高齢者クラブに協力してもらい訪問ヒアリングを行う。孤立化している人が何に困っていて、なぜ外に出てこないのかといった現状を把握する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市と自治区で孤立化している人の情報を共有できる仕組みをつくる。</li> </ul> <p>(現状、どの程度情報共有できているのか分からないので、現状を知ること必要。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>季節ごとにイベントを開催してみんなで集まれる場所を提供する。</li> <li>「集いの場」を支援する。</li> </ul> <p>(例えば、カフェや高齢者クラブ等に毎日朝刊を置いて交流のきっかけづくりを支援する等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども食堂のシニア版を開催して、子どもと一緒に食事をしてみんなでふれあうことができる場所を提供する。</li> </ul>
3	移動手段の確保	<p><b>【カーシェアリングへの取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水源地区のカーシェアリングを見做う。</li> <li>市からの補助を拡充してもらう。</li> </ul> <p>(例：3年間の補助を無期限にする等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉車両1台を益富地区に置いてもらう。</li> <li>ドライバーも高齢化していくので、保険料を市で手厚く見ってもらう。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路のバリアフリー化を行う。</li> </ul> <p>(歩行者はじめ、シニアカー利用者の移動に支障をきたさないようにするため。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>移動時の安全確保のため、市の補聴器購入費助成を拡充する。</li> <li>「おでかけパス70」の月3000円を無料にしてバス利用を促進する。</li> <li>わくわく事業を利用して移動手段確保の事業を行う。</li> </ul>
4		<ul style="list-style-type: none"> <li>益富地区は、赤道が多いので整備して歩行者等が移動しやすいようにする</li> <li>「おでかけパス70」があるが、おいでんバスに限定されているため、名鉄バスでも使えるようにして対象年齢も拡げて使いやすくする。また、運賃の支払も簡単にできる仕組みをつくる。</li> <li>おいでんバス等は車両サイズが大きいので、10名くらいの小型車両を導入して益富地区を周回する仕組みをつくる。</li> <li>誰でもバスや電車に乗れる練習を、今ある公共交通機関を活用して行う。</li> <li>介護施設の送迎バスを益富地区の周回バスに活用する。</li> </ul> <p>(送迎バスが使われていない空き時間帯で活用し、各自治区でドライバーの時給とガソリン代を負担する。)</p>

- ・黒田会長から「会議に市の担当者を招いて、移動支援及び孤立化に関する市の取組について説明を聞いてはどうか」という提案があり、出席した全委員が賛成したため、次回会議での実施に向けて事務局が調整を行うこととなった。

### 3 事務連絡

事務局から以下の2点について説明した。

- (1) 古瀬間グリーンパーク自治区での防災出前講座実施報告
- (2) 次回の開催について

令和6年度 第10回益富地域会議

- ・日 時：令和7年1月15日（水曜日）19時～
- ・場 所：益富交流館 多目的ホール

以上